

授業科目区分		科目名		単 位	科目コード	開講時期	履 修 条 件		
修学基礎教育課程 修学基礎科目 修学基礎		修学基礎 Basic Style for Study I		1	0001-01	1期(前学期)	修学規程第5条別表第2を参照		
担当教員名		研究室	内線電話番号	電子メールID			オフィスアワー		
授 業 科 目 の 学 習 教 育 目 標									
キーワード		学習教育目標							
1	KITポートフォリオ	金沢工業大学の学生として求められる、学習や生活に取り組む態度と方法を体験することにより、自己管理と日本語表現力の重要性を認識し、自己実現に向かって、積極的に取り組むことができる。 本学が推進するKITポートフォリオシステムを活用し、修学・生活スタイルの改善を実行する基礎的な習慣を身につけることができる。							
2	自学自習								
3	修学設計								
4	日本語表現力								
5	個人面談								
授業の概要および学習上の助言									
<ol style="list-style-type: none"> 1. 毎日「1週間の行動履歴」を記録し、KITポートフォリオ(Web上)に入力することにより、自己管理を身に付ける。 2. 本学の教育課程(修学基礎教育課程・英語教育課程・数理工基礎教育課程・基礎実技教育課程・専門教育課程)・教育制度を認識する。 3. 学長講話(学生にもとめるもの)・学生部長講話(オリエンテーション時:修学・生活全般)を聴講し、本学学生としての意識を深め、修学に対して意欲を高める。 4. 文章や小論文作成およびグループ討議の基本的な技法を学習し、正しい日本語表現力を身につける。また、本学の諸施設の機能と利用法を確認して、自学自習の意識を高める。 5. 「KIT IDEALS」「学生宣言」などの規範意識をテーマにしたグループ討議を行い、その結果を口頭や文章で報告する。 6. 修学・生活についての個人面談を行う。 <p>出席・提出物の締切を守ることにについては特に厳しく評価する。 科目のホームページを頻繁に見ること。http://edu1.kanazawa-it.ac.jp/shugaku/</p>									
【教科書および参考書・リザーブブック】									
教科書:修学基礎2009[金沢工業大学]、修学基礎 ワークシート[金沢工業大学]									
参考書:指定なし									
リザーブブック:指定なし									
履修に必要な予備知識や技能									
<ol style="list-style-type: none"> 1. 「KIT IDEALS」を理解し実践する意志 2. 「学生宣言」を理解し実践する意志 3. 金沢工業大学「人間力」を身に付ける意志 									
学科教育目標 (記号表記)		学生が達成すべき行動目標							
A,B		「1週間の行動履歴」の作成を通して自己管理能力を高め、次学期での対応を文章で報告することができる。							
A		本学の施設概要を理解し、自己実現のために活用方法を文章で報告することができる。							
B		講話の内容を整理し、それに対する自己の見解を文章で作成することができる。							
A		文章作成の基本技術を学習し、ルールに沿って文章を作成することができる。							
A,B		グループ討議を通して自己の見解と他者の見解を対比させ、口頭および文章で表現することができる。							
A,B		規則正しい生活をし、授業には欠かさず出席し、提出物の締切を守るなど積極的に学ぶ姿勢を確立できる。							
達 成 度 評 価									
評価方法		試 験	クイズ 小テスト	レポ-ト	成果発表 (口頭・実技)	作 品	ポ-トフォリオ	その他	合 計
指標と評価割合									
総合評価割合		0	0	60	0	0	24	16	100
総合力 指標	知識を取り込む力	0	0	30	0	0	0	0	30
	思考・推論・創造する力	0	0	20	0	0	0	0	20
	コラボレーションとリーダーシップ	0	0	5	0	0	0	0	5
	発表・表現・伝達する力	0	0	5	0	0	0	0	5
	学習に取組む姿勢・意欲	0	0	0	0	0	24	16	40

総合力指標で示す数値内訳は、授業運営上のおおよその目安を示したものです。

評価の要点

評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点
試験		
クイズ 小テスト		
レポート		課題 「キャンパスラリーレポート」6点 課題 「学生部長講話聴講ノート」8点
	レ	課題 「大学生活で挑戦したいこと」10点 課題 「学習シート」3点
	レ	課題 「学長講話聴講ノート」10点 課題 「学習シート」3点
	レ	課題 「学習シート」3点 課題 「小論文A(800~1000文字)」10点
	レ	課題 「グループ討議メモ用紙」7点
成果発表 (口頭・実技)		
作品		
ポートフォリオ	レ	「1週間の行動履歴」 3点×8回 *教室での授業毎に提出
	レ	
その他		定刻出席は2点×8回、但し遅刻は1点減点(15分まで)とする
		多目的ホールの講話での遅刻者・欠席者は後日ビデオを視聴する
		個人面談の無断欠席者は7回目の授業を欠席扱いとする
		15分以上の遅刻者は欠席とする
	レ	

具体的な達成の目安

理想的な達成レベルの目安	標準的な達成レベルの目安
<p>「1週間の行動履歴」を記録し、自省することによって、次週への目標を明確に記すことができる。</p> <p>文章作成の基礎を理解し、ルールに従って、正しく明解に文章を作成することができる。</p> <p>講話を聴きながら要点を整理し、後に自分の意見と照らし合わせながら講話の内容をまとめることができる。</p> <p>自分の意見を他者の意見と対比させながら明確に述べ、まとめて記すことができる。</p> <p>本学の施設や教育課程を理解し、自己の学習計画を作成できる。</p> <p>授業に欠かさず出席し、提出物の期限を守るなど、学習に対する積極的な態度が身に付いている。</p>	<p>「1週間の行動履歴」を記録することができる。</p> <p>文章作成のルールに従い、作成することができる。</p> <p>講話の内容を箇条書きでまとめることができる。</p> <p>自分の意見と他者の意見を区別することができる。</p> <p>本学の施設や教育課程を理解している。</p> <p>授業に出席し、提出物の期限を守るなどの学習態度が身に付いている。</p>

CLIP学習プロセスについて

一般に、授業あるいは課外での学習では：「知識などを取り込む」「知識などをいろいろな角度から、場合によってはチーム活動として、考え、推論し、創造する」「修得した内容を表現、発表、伝達する」「総合的に評価を受ける、Good Work!」：のようなプロセス（一部あるいは全体）を繰り返し行いながら、応用力のある知識やスキルを身につけていくことが重要です。このような学習プロセスを大事に行ってください。

回数 日付	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1・2 回 /	<p>修学基礎 ガイダンス 学習支援計画書などによりこの科目で身につける能力を理解する。 メモの取り方について学習し、今後、実践を通して身につける。</p> <p>【持参物】 修学基礎2009・修学基礎ワークシート・KIT学生心得・キャンパスノート・加藤が「1」ブック</p>	<p>指定教室での講義・演習 【提出物】 課題 「大学生活で挑戦したいこと」 課題 「学習シート」 自己診断シート 質問シート 1週間の行動履歴</p>	<p>課題 「キャンパスレポート」を作成する 1週間の行動履歴を作成する 課題 「学生部長講話聴講ノート」はオリエンテーション時に提出済み</p>	60 30
3・4 回 /	<p>学長講話(石川憲一学長) 「学生に求めるもの」をメモをとりながら聴講し、講話後に要点をまとめることによって、本学学生としての自覚を深めるとともに、修学に対する意欲を高める。</p> <p>【持参物】 修学基礎2009・修学基礎ワークシート・キャンパスノート・金沢工業大学における教育改革への取り組み-知識から知恵へ-</p> <p>課外(16:40~17:40) 【ライティングセンター特別講義】 「小論文作成について」を聴講し、文章作成の基本について学習する 【持参物】 小論文作成の手引き</p>	<p>多目的ホールにて講話を聴講しメモをとる。 講話後、指定教室にて講話の要点をまとめる。 遅刻者の入場は認めず、欠席者とともに後日のビデオ視聴とする。 【提出物】 課題 「キャンパスレポート」 課題 「学長講話聴講ノート」 1週間の行動履歴</p>	<p>課題 「学習シート」：修学基礎2009「文章作成の方法」の項を読み理解した点や重要な点を予習欄にまとめる 1週間の行動履歴を作成する</p>	60 30
5・6 回 /	<p>文章作成の方法 レポート、小論文作成の基本事項、引用や剽窃(ひょうせつ)について学習する。 LC(ライブラリーセンター)の利用法について、図書検索ビデオを視聴し、LCの機能を理解する。</p> <p>【持参物】 修学基礎2009・修学基礎ワークシート・小論文作成の手引き・ライブラリーセンター利用マニュアル</p>	<p>指定教室での講義・演習 【提出物】 課題 「学習シート」 1週間の行動履歴</p>	<p>課題 「学習シート」：修学基礎2009「グループ討議の方法」「個人面談の方法」の項を読み理解した点や重要な点を予習欄にまとめる 課題 「小論文A(800~1000文字)」：ワード機能を使って作成し、2部提出すること。様式は修学アドバイザーの指示に従うこと。小論文にはLCで検索した参考・引用図書を1冊以上を明記し、その際検索シートをどちらか1部に添付する。5週目の授業にて提出。 1週間の行動履歴を作成する</p>	60 360 30
7・8 回 /	<p>グループ討議の方法 グループ討議を行うための基本事項について学習する。</p> <p>個人面談の方法 研究室を訪れる際のマナーやe-mailでアポイントをとる際のマナーについて学習する。</p> <p>【持参物】 修学基礎2009・修学基礎ワークシート</p> <p>課外：【個人面談】 4週目から6週目にかけて実施する。 日時・場所・持参物は修学アドバイザーの指示に従うこと</p>	<p>指定教室での講義・演習 【提出物】 課題 「学習シート」 1週間の行動履歴</p>	<p>グループ討議の題材について、調べ自分の意見をまとめておく 1週間の行動履歴を作成する</p>	60 30
9・ 10回 /	<p>グループ討議の実際 指定された題材についてグループで討議を行い、自分の意見と他者の意見についてまとめる。それぞれの意見の理由や背景を考え、グループとしての意見をまとめる。グループとしてまとめた意見を代表者が口頭で発表する。</p> <p>【持参物】 修学基礎2009・修学基礎ワークシート・KIT学生心得・キャンパスノート</p>	<p>指定教室での講義・演習 【提出物】 課題 小論文A 1週間の行動履歴</p>	<p>課題 「グループ討議メモ用紙」をまとめておく。 1週間の行動履歴を作成する</p>	60 30
11・ 12回	<p>修学アドバイザーによる自由講義・演習</p>	<p>指定教室での講義・演習 【提出物】</p>	<p>1週間の行動履歴を作成する</p>	30

授業明細表

回数 日付	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	時間(分)
/	【持参物】 修学アドバイザーの指示するもの	課題 グループ討議メモ用紙 1週間の行動履歴		
13・ 14回 / /	再個人面談 希望学生および修学アドバイザーが指名した学生 修学アドバイザーとのコミュニケーションをはかる 学習・生活・履修などに関する相談	指定教室での講義・演習 【提出物】 1週間の行動履歴 日時・場所・その他の提出物 などは修学アドバイザーの指示による	1週間の行動履歴を作成する	30
15・ 16回 / /	自己点検授業 出席と課題の提出状況を確認し、各種課題の返却を受ける。 修学基礎 ガイダンス 学習支援計画書などによりこの科目で身につける能力 を理解する。 【持参物】 修学基礎2009・修学基礎ワークシート・カリキュラムガイドブック	指定教室での講義・演習 【提出物】 1週間の行動履歴	1週間の行動履歴を作成する	30